

# 京のお地藏さん

ふと街を歩いていると道端によくいるお地藏さん。身近だけど見過ごしがちなものですね。その中でも特に有名なものについて紹介します。(篝火)

参考文献：『京のお地藏さん』 竹村俊則 京都新聞出版センター

## 秀吉ゆかりのお地藏さん 子安観音



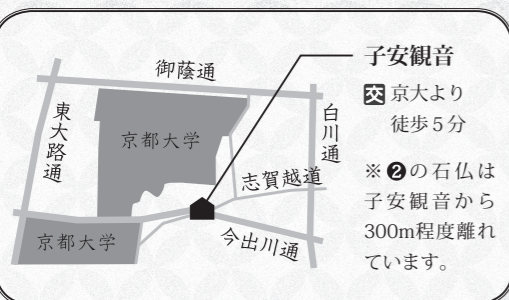
多くの京大生が通学路として利用している志賀越道。この通りと今出川通との交差点の道端には大きな石仏がたたずんでいる。道を走っていると突然現れるこのお地藏さんは、形は無骨であるものとても存在感があり、地元の人にも子安観音として親しまれている。

地域に根ざしたこのお地藏さんにはとあるエピソードがある。昔、この石仏はひとりでも動き出す珍しい仏像であると言われていた。これを伝え聞いた豊臣秀吉は地蔵を北白川から強引に聚楽第へ移した。ところが夜になるとお地藏さんが「白川に帰りたい」と不気味なうめき声を発したため、秀吉は仕方なく元の場所に戻したというのである。このためにこのお地藏さんは太閤地蔵とも呼ばれている。

志賀越道は古来より京都と滋賀を結ぶ道であった。旅に出る人々はお地藏さんに道中の安全を祈ってきたことだろう。今でも多くの人が行き交う交差点で私たちのことを見守り続けている。



- ① 交差点に佇む子安観音。常に花が手向けられていて信仰の深さを感じられる
- ② 交差点の南側にもこれに準ずる石仏が2体いる
- ③ 子安観音の裏側には多くの小さな石仏がまつられている



### Q お地藏さんとは？

A 地蔵菩薩、いわゆるお地藏さんは仏のひとつで、往生できずに地獄に落ちた人を救済する役目を負います。特に親に先立ってしまった子どもが賽の河原で石積みをしているのを救済すると言われていました。

はみだし  
すてーじ 8月・9月は休刊するなんて、そんなの嘘だ  
⇒3月もお休みします

(理・3 ねおん)  
(編集部員にもたまにはお休みをください；編)

## 叶う願いはひとつだけ 幸福地蔵

鈴虫寺へ至る階段を上っていくと、寺の門の入口でお地藏さんが参拝する人々を見ている。このお地藏さんは幸福地蔵といい、わらじを履いている珍しいお地藏さんだ。

なぜわらじを履いているかという、本来お地藏さんに祈願するには何度もお参りしなければならないが、このお地藏さんは逆にお参りにきた人のところまでやってきて願いを叶えてくれるからだ。ただし、願ひ事は欲張ってはだめで、ひとつだけしかお願いはできないのだという。

人が一心に願い、努力する姿を見てこそお地藏さんは自ら動いてまで願いを叶えようとしてくれるのかもしれない。

鈴虫寺(華嚴寺)  
 9~17時(最終受付16時30分)  
 阪急電車【嵐山線松尾大社駅】下車徒歩15分  
 京都市バス【3号系統松尾橋行松尾橋】下車  
 徒歩20分  
 ¥500円



- ④ お地藏さんは参拝する人々を見守っている
- ⑤ 鈴虫寺へ至る山道

## 水で苦恵を洗い流す あらいぢぞう



五条大橋のそばの狭い路地を入った先に、ひっそりとたたずむ寿延寺というお寺がある。そこにまつられているのはあらいぢぞうだ。

このお地藏さんへ祈願する方法は一風変わっている。井戸から水をくみ、石仏のそばに置いてあるたわしで洗ってほしい身体の部位をこすのだ。

多くの人がお地藏さんを洗い、お参りしてゆく。人々に愛されるお地藏さんの姿がそこにはある。

寿延寺  
 7~17時(境内自由)  
 京阪電車【清水五条駅】  
 下車徒歩5分

- ⑥ 人々にこすられてお地藏さんはきれいなままだ

### Q 六地蔵巡りとは？

A 8月22、23日に旧街道の京都への入口6カ所にあるお地藏さんを巡拝して家内安全、無病息災を祈願する行事のこと。大善寺、浄禅寺、地藏寺、源光寺、上善寺、徳林庵にお地藏さんはまつられています。京都市中を探索してこれらの寺を回るのもよいかもしれません。

はみだし  
すてーじ 毎日眠い  
⇒少しだけ一日だけ休んでみましょう

(医・3 タコス)  
(それで気分爽快になればもうけたものです；編)